

【基本方針】

住み慣れた町で、その人らしく、慈愛に満ちた生活を支援する

【年間目標】

- ① NO 事故を目指す
- ② 『どこにも負けない、ふるさとらしいホスピタリティ』を目指す
- ③ 良質なサービスの提供
- ④ 専門的な認知症ケアの提供
- ⑤ 家族との連携
- ⑥ 地域との連携
- ⑦ 目標稼働率 97%を目指す

【実践報告】

- ① NO 事故を目指す
 - ・1年間の発生事故件数は39件であった。平成29年度は57件であり、大幅な減少が出来た。また、服薬関係の事故は6件であり、薬の取り扱いに対する意識の向上を図ることが出来たと思われる。しかし、転倒の事故は17件と多く発生しており、骨折に至り、神戸市への報告を要した事故は2件発生した。
- ② 『どこにも負けない、ふるさとらしいホスピタリティ』を目指す
 - ・言葉遣いや態度に関して、職員同士の声掛けもあり、以前に比べ改善できている。職員の意識も向上している。現状の状態維持のために、継続した指導や話し合いが必要と思われる。
- ③ 良質なサービスの提供
 - ・食事に関しては、入居者様の状態に合わせた形態での提供をすることが出来た。水分摂取に関しては、嗜好に合わせた物の提供をすることが出来た。歩行などの活動量に関しては、雨季や冬季など、季節によって差があったが、外出行事などを毎月計画実行し、屋外での活動を支援した。
 - ・感染症に関しては、1月にインフルエンザの感染者が、入居者に2名、職員に1名発生した。
 - ・チームケアの実施に関しては、週に1回のユニットミーティングや月に1回の会議を開催し、支援内容を話し合う機会を持った。
 - ・職員のスキルアップに関しては、認知症介護実践者研修に2名の職員を参加。神戸市認定介護士を1名取得することが出来た。また、毎月の会議の中で勉強会を開催し、基本的な介助方法や感染症、認知症ケアなどの内容を行った。
 - ・定期的なサービスの評価に関しては、7月に第三者評価を受け、ご家族へのアンケートも実施した。

④ 専門的な認知症ケアの提供

- ・3ヶ月毎の介護計画の見直し、6ヶ月毎のセンター方式を用いたアセスメントを実施することで、ご入居者主体の計画の見直しが行えた。

⑤ ご家族との連携

- ・昨年同様、季節行事へご家族の参加を促し、多くのご家族に参加して頂いた。また、家族会を年2回（11月 3月）開催し、意見交換を行った。

⑥ 地域との連携

- ・運営推進会議は、2ヶ月に1回開催した。ご入居者の地域交流に関しては、福祉センターで開催する夏祭り、文化祭への参加や、塩屋キッズ音楽隊の訪問等を行った。また、地域で活動するボランティアの導入をし、毎月2組のボランティアに活動をしていただいた。
- ・管理者による地域ケア会議やグループホーム連絡会、垂水区在宅医療介護サポートセンター開催の会議などの参加は定期的にできた。また、地域の事業所の集まりである、Tラインへの参加も出来た。

⑦ 目標稼働率97%を目指す

- ・平成30年度の稼働の結果は、94.4%であった。入院者は8名おられた。入院の原因疾患は、大腿骨骨折、てんかん発作、心筋梗塞、脳梗塞、肺炎、胃潰瘍であった。入院延べ日数は332日であった。

| 平成30年度月別稼働状況 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間平均 |
| 平均利用人数 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 16.6 | 17.9 | 17.5 | 15.4 | 15 | 15.1 | 16.2 | 17.0 |
| 平均稼働率 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 92.2 | 99.8 | 97.4 | 85.3 | 83.3 | 84.1 | 90 | 94.4 |

【苦情受付】0件